

農林水産物の 付加価値向上に 向けて

～ 知的財産の役割と
効果を学ぶ～

令和 8 年

2 / 2 (月)

13:30 ~ 16:30

リアル+オンラインのハイブリッド開催
会場は 13:00 受付開始参加
無料

定員
リアル会場 50 名
オンライン参加 100 名

対象
農林水産分野に関心のある中小企業、
農林水産分野の関係者 (JA、農家)、大学、
研究機関、行政機関及び支援機関担当者
(弁護士、弁理士、商工会議所等) の皆様
(大阪府外所在の企業様も参加可能です。)

場所
梅田センタービル 31 階
ホワイトホール
(大阪市北区中崎西 2 丁目 4 番 12 号)

基 調 講 演 (80 分)

講演 1
(40 分)

農林水産・食品産業における 付加価値向上に向けた 知的財産の保護・活用について

講師 農林水産省 輸出・国際局 知的財産課 課長
吉松 亨 氏



2001年に農林水産省入省。食料産業局輸出先国規制対策課戦略室長、農林水産大臣秘書官、新事業・食品産業部企画グループ長、輸出・国際局輸出企画課長を経て、2025年7月から現職。

講演 2
(40 分)

競争力を高める農水知財と その保護の在り方

講師 三木・伊原法律特許事務所 所長 弁護士・弁理士
伊原 友己 氏



令和 7 年知財功労賞・経済産業大臣表彰受賞。日弁連知的財産センター 平成 26 年度委員長、現・農水法務支援プロジェクトチーム 座長。弁護士知財ネット 専務理事。『改訂版 攻めの農林水産業のための知財戦略ー食の日本ブランドの確立に向けてー』(監修 平成 30 年・経済産業調査会) ほか著書、論攷等多数。

休 憩 (10 分)

パネルディスカッション (70 分)

トーク 1

関西大学の知財による新しい 「きのこ」の価値創造

講師
関西大学商学部教授 商学部長
株式会社 キューブ (Ku:p) 代表取締役
西岡 健一 氏



東京理科大学工学研究科、神戸大学大学院専門職学位課程、エジンバラ大学ビジネススクール修了。PhD (エジンバラ大学)。日本電信電話(株)、西日本電信電話(株)を経て、2009 年より関西大学。
新しいきのこの開発と海外を視野に入れた市場創造を行っています。
知財により市場を開拓する大学発ベンチャーの役割についてお話しします。

トーク 2

和歌山発 みかんの付加価値づくり 最前線

講師
株式会社早和果樹園 代表取締役社長
秋竹 俊伸 氏



和歌山県有田市出身。農林水産省果樹園芸試験場 (現農研機構) を経て、1996 年就農。2000 年同社に創業メンバーとして参画、2017 年代表取締役社長就任。同志社大学院 MBA (ビジネス修士)。有田市地域農業士。和歌山県農業法人協会会長。日本食農連携機構理事。

ディスカッション

農林水産分野の関係者にとって今後必要となる知財マインドについて

事業案内 (10 分)

特許庁・農林水産省から事業・施策案内

- オンライン参加でお申込みの方には、開催日の前日までに、配信用 URL を下記事務局メールよりご連絡いたします。
- ご記入いただいた個人情報は、主催者及び共催者で適切に管理し、本セミナーに関する運営及び主催者等が実施する事業についてのみ活用します。なお、関連情報等をご案内させていただく場合がありますのでご承知おください。

申込締切

令和 8 年 1 月 29 日(木)

正午

参加申込は
こちら！専用サイトにてご案内・申込受付中 <https://chizai-seminar25.go.jp/>

主催：特許庁、近畿経済産業局
(事務局：ダン計画研究所)
共催：農林水産省、近畿農政局

後援：大阪商工会議所、INPIT 大阪府知財総合支援窓口、大阪府よろず支援拠点
独立行政法人工業所有権情報・研修館 近畿統括本部 (INPIT-KANSAI)
日本弁護士連合会、日本弁理士会関西会
公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会、弁護士知財ネット [50 音順]

お問い合わせ

知財セミナー・ワークショップ事務局 (株式会社ダン計画研究所内、平日 10:00 ~ 17:00)
【TEL】 06-6944-1173 【MAIL】 ip-sws@chizai-seminar25.go.jp